

「新聞週間」の世論調査を分析する。

細馬宏通（ほそまひろみち・滋賀県立大学人間文化学部）

「新聞週間」の世論調査とは？

- 読売新聞が毎年「新聞週間」にちなんで、9-10月に行う個人面談方式の世論調査。内容は、新聞が「必要とする情報や日常生活に役立つ情報を提供しているか」など、新聞や他メディアに対するさまざまな信頼性、新聞の有用性など。全国250地点、3000人を対象に調査が行われ、毎年有効回収率は60%前後である。

世論調査の取り上げられ方

- 「新聞は必要」 92%…読売世論調査
(2010年10月15日03時07分 読売新聞)
- 「読売新聞社が15日から始まる第63回新聞週間を前に実施した全国世論調査（面接方式）で、情報や知識を得るために新聞は必要だと思う人は92%（昨年91%）に達した。新聞の報道を信頼できるとの回答は87%（同85%）だった。新聞が「必要とする情報や日常生活に役立つ情報を提供している」は88%（同88%）、「事実やいろいろな立場の意見などを公平に伝えている」は70%（同69%）、「国民の人権やプライバシーを侵さないように気を配っている」は76%（同74%）となった。」

記事中で要約された数字の問題点。

- 新聞の報道を信頼できるとの回答は87%（同85%）だった。
- 実際の調査は...



S1 あなたは、全体として、新聞の報道を信頼できますか、信頼できませんか。

1.大いに信頼できる	22	3.あまり信頼できない	9
2.だいたい信頼できる	65	4.ほとんど信頼できない	2
5.答えない	2		
- → 「新聞の報道を信頼できるとの回答は87%」は、実は「大いに」と「だいたい」を足し合わせたもの。



年ごとの変化を追ってみよう。

- 「新聞週間」の世論調査は毎年行われている。
- 過去の記事はインターネット上で入手できる。
- →年ごとの変化を追って比較してみよう。



あなたは、新聞があなたの必要とする情報や日常生活に役立つ情報を提供していると思いますか、そうは思いませんか。

	2009	2010	2011	2012
十分に	39	36 	28	27
だいたい	49	52	54	54
あまり	8	7 	12	12
ほとんど	3	2	3	4
無回答	2	2	3	3

あなたは、新聞が事実やいろいろな立場の意見などを公平に伝えていると思いますか、そうは思いませんか。

	2009	2010	2011	2012
十分に	17	17 	12	14
だいたい	52	53	52	49
あまり	20	19 	24	23
ほとんど	7	8	7	9
無回答	5	3	5	5

あなたは、全体として、新聞の報道を信頼できますか、
信頼できませんか。

	2009	2010	2011	2012
大いに	22	22 	17	18
だいたい	63	65	63	62
あまり	10	9 	13	13
ほとんど	3	2	3	4
無回答	2	2	3	3

新聞の信頼度は2011年に 下がっている。





- 2010年と2011年の間に大きなギャップが見られる。
- いずれの質問でも、「十分に」が下がり「あまり」が上がっている。
→コアな支持者が減り、評価の低い人が増えている。
- 四件法の上位三つに重要な変化が見られることから、「評価する」「しない」の二件法で調査をまとめたり、単年の結果のみに注目すると、現状を見誤る恐れがあり、薦められない。

を果たしているメディア(%)

	2009		2010		2011
一般の新聞	57	→	49		47
NHKTV	60	→	66	→	73
民放TV	63	→	55	→	48
インターネット	32	→	41		36
ラジオ	16		18		22

- 新聞、民放TVの速報性は2010年にすでに評価が下がっており、民放はその後も評価を下げている。インターネットは2010年に大きく伸びたものの、2011年に下がっている。NHKTVが評価をあげている。

という点ではどうですか。

	2009	2010	2011
一般の新聞	61 	52	50
NHKTV	50	52 	59
民放TV	55 	51 	44
インターネット	11	11	13
ラジオ	6	5	7

「権力者や世の中の不正を追及する」
という点ではどうですか。

	2010	2011
一般の新聞	44	41
NHKTV	29	33
民放TV	49	42
インターネット	12	17
ラジオ	3	4



- インターネットは「追求」のメディアとして捉えられている

「社会の懸案や課題に対する解決策を提案する」
という点ではどうですか。

	2009		2010		2011
一般の新聞	59	→	49		47
NHKTV	45	→	38	→	43
民放TV	51	→	46	→	40
インターネット	8		8		10
ラジオ	5		4		5

- NHKTVは2010年にいったん評価を下げたものの、2011年に再び評価を上げている。

2009-2012年の変化からわかること。

- 新聞、民放TVへの評価は、他のメディアと比べて2011年以前にすでに低落傾向にあった。
- 新聞への信頼度は、2011年以降とくに下がっている。
- NHKTVはこの数年、さまざまな点で評価を上昇させている。
- インターネットは、追求のメディアとして捉えられている。

世論調査を精査することの重要性

- 「十分」「だいたい」「あまり」「ほとんど」の4段階（4件法）を用いた質問では、2009年から2012年にかけて、新聞を「十分」と評価するコアな支持者層が減少し、一方で、「あまり」とやや評価の低い層が増加する傾向が見られる。
 - 「評価する」「評価しない」の二件法で記事を書いたりアンケートをとると、「十分」「だいたい」「あまり」という重要な変化項目を「評価する」に組み入れる恐れがあるので、推奨できない。